



上信線沿線の観光まちづくり

高崎商科大学 コミュニティ・パートナーシップ・センター(CPC)
センター長 ライトウ山崎晴世

高崎商科大学では、平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択された「地と知から(価)値を創出する地域密着型大学を目指して」のテーマのもと、上信線沿線の「観光まちづくり」とそれを推進する「人づくり」を目指し、地域の課題である沿線活性化に取り組んでいます。

■ドローン(無人航空機)を活用した観光PR用映像作成プロジェクト

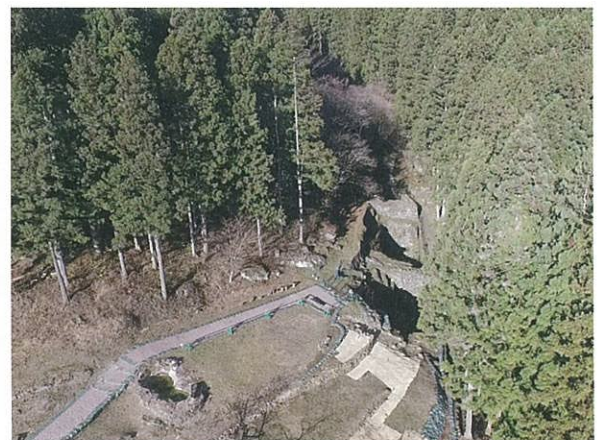
上信電鉄と連携し沿線地域の活性化に携わってきた本学は、昨年10月より約半年間をかけて「ドローン(無人航空機)を活用した観光PR用映像作成プロジェクト」に取り組みました。これは包括協定提携先の下仁田町から学生の視点を軸にドローンを活用した観光PR用映像作成へ協力を得たいとの要請を受け、本学で上信電鉄の利用者へ沿線の観光情報を紹介することを目的とした「タブレット型の上信電鉄観光ガイド機の制作」に取り組んでいる10人のプロジェクト・チームにより「下仁田町平成27年度観光事業活性化業務委託」の一環として実施したものです。

「ドローンを活用した観光PR用映像作成プロジェクト」では、空撮用のドローンと地上撮影用のハンディビデオカメラを駆使し、学生お勧めの観光スポット、下仁田駅周辺の風景、特産品の下仁田ネギ、お気に入りの食事処などを紹介しました。ドローンによる空撮映像を活用することにより、地上撮影とは違った角度から下仁田の魅力を提供することができました。特に世界文化遺産の荒船風穴については、風穴そのものだけを紹介した写真が多い中、学生たちは風穴の周辺環境までも分かるような撮影・編集を心がけました。

このプロジェクトは、下仁田町より高く評価されただけでなく、本学学生による地域の活性化活動に対して好意的なコメント、さまざまなお支援をいただきました。また、この取り組みは学生の映像撮影・編集技術の向上の機会とともに、地域の方々との交流や地域理解を深める機会となりました。ドローンを活用した観光PR映像が多くの方々の目に留まり、下仁田町訪問のきっかけになってくれることを願っています。



荒船風穴の周辺状況



荒船風穴の空撮画像

